

船橋 YMCA 通信



No. 115 2020年7月1日

編集 一般社団法人千葉YMCA船橋地域デポ 発行人 榎一光

〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内

電話：(047)425-6366 FAX：(043)222-5061



千葉YMCA定期総会

一般財団法人千葉YMCAの第49回定期総会は6月13日(土)に千葉センターで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から通常通りの開催を断念し書面による議決になりました。

総会資料を総会構成員に120通郵送し、はがきで得られた回答数は75通で、返送率は62.5%でした。

第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告、第2号議案 2020年度事業計画及び収支予算、第3号議案 常議員選出の3つの議案とも賛成75票、反対0票、無効0票で、過半数の賛成をもって可決されました。



《これは去年の定期総会の風景で今年は無し》

ほっこり、にっこり、

わんぱくキャンプの報告

千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは障がいを持つ子ども達を励ますための益金を集めることを目的にした駅伝大会です。昨年の大会の益金を用いて2019年11月23日(土)～24日(日)に「第3回ほっこり、にっこり、わんぱくキャンプ」が千葉市少年自然の家で実施されました。

「発達に凸凹のある子どもたちのご招待キャン

プ」は、千葉YMCAインターナショナル・チャリティーラン第20回大会を記念し、その益金を活用して開催したのが始まりです。こうして生まれた「ほっこり、にっこり、わんぱくキャンプ」は、『やりたい』と言える』そして「安心して友だちと過ごせる」場所を子ども達に提供し、昨年、3回目を迎えました。



《宿泊部屋で夜の日記を書く参加メンバー》

今回の参加者は、小学生20名。幼児2名の計22名で、このキャンプを支えてくれたのは中学生3名のサポートメンバー、大学生・社会人ボランティア13名とYMCAのスタッフ2名でした。



《自分の気持ちを「ほっこり」に貼ります》

今回は、初日は雨でしたが、自然の家の施設内探検や屋外炊事場でのスマアーズ(焼きマッシュマ

ロ) も体験しました。



《みんなの目線の先は火で焼かれているマシュマロ》

親から離れて行動することが難しい子ども達ですが、1泊2日のキャンプでグループでの生活やレクリエーションを体験、一人ひとりの行動や反応は様々ですが、それぞれが安心してやりたいことにチャレンジすることができました。

今年のチャリティーラン

第23回千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月17日(土)に船橋市運動公園で行う計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から通常開催は断念して、一般の参加者にはバーチャルランでの寄与をお願いしたいと考えています。

バーチャルランとは、会場に集まるのではなく、いつでもお好きな場所でお好きな距離を走れば誰でも参加できるものです。

チャリティーランに参加したことの記念になるものをエントリーして下さった方々にお渡ししようと考えていますが、詳細はこれから詰めてなるべく早い機会にお知らせします。

障がいを持つ子ども達を励ますための益金を募る趣旨に添い、今年もスポンサーを募集する方向で考えています。



《これは2018年の第21回千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランの集合写真です》

障がい者理解体験教室の感想文

今年度は、学校が休校になっていて障がい者理解体験教室はまだ開かれていません。昨年、開いた体験教室の感想文を掲載します。

2019年11月7日 葛飾小学校

私は、車いす体験をして車いすの操作がすごく大変だとわかりました。車いすに乗っていて困ることが、少しの段差があっても登るのがとても難しいことです。そして、もう一つが車いすの使い方です。理由は、準備の順番を間違えると事故が起きてしまうことです。なので車いすに乗っている人たちが苦労していることがわかりました。

(4年女子)



《葛飾小の車いす体験の様子です》

2019年12月9日 飯山満南小学校

今日は、私達のために色々なことをして下さりありがとうございました。車いす体験では、一人で動かすと小さい段差でも全く乗れなくてペアの子にそこは助けてもらいました。このことを通して、すごく大変だということ改めてわかりました。今回は本当にありがとうございました。(5年女子)

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの5月、6月の活動記録です。

- ・ 5月27日(水) 千葉YMCA常議員会
電磁的審議
- ・ 6月11日(木) 千葉YMCA定時評議員会
電磁的審議
- ・ 6月13日(土) 千葉YMCA2020年定期総会
書面決議の締切りは6月20日
- ・ 6月27日(土) チャリティーラン実行委員会

編集後記

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでのあたりまえが通用しないので、色々工夫しながらプログラムを進めていきます。(楨)